

令和6年度第2回石巻市地域公共交通活性化協議会

会議録

◆日時：令和7年1月30日（木） 午後3時から午後4時13分まで

◆場所：石巻市防災センター 2階 多目的ホール

1. 開会

委員数29名のうち、18名出席のため会議成立

2. 会長あいさつ

公共交通につきまして、先日、新聞でも特集が組まれておりましたけれども、やっぱり地域全体として非常に重要な課題と認識されているので、特集が組まれたと考えております。こういう中で、それをどうしていくのかということをお聞きいただきながら議論を進めていき、少しでも応えられるような形にしていければと考えておりますので、引き続き今日もよろしくお願いいたします。

3. 報告

(1) 石巻市地域公共交通運賃協議会の設置について

（説明：本庁地域振興課）

（質疑応答）

特になし

(2) 令和6年度第1回石巻市公共交通運賃協議会開催結果について

（説明：本庁地域振興課）

（質疑応答）

特になし

4. 議事内容

(1) 山の手地区乗合タクシーの運行について

（説明：本庁地域振興課）

（質疑応答）

特になし

（協議結果）

異議なし 承諾

(2) 水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシーの運行について

(説明：本庁地域振興課)

(質疑応答)

会長 簡単に背景を教えてくださいませんか。無くなったものと、それから七十七は新しく増えてますよね。それからデンタルクリニックことうのは無くなったのですか。

事務局 いずれも医療機関が閉院になりまして、それに伴い利用者があまりないということで、今回、停留所の廃止を会議の中で諮ったところでございます。

委員 乗降箇所一覧の6番の七十七銀行新中里支店。ここ今ATMコーナーしかないですよ。それで近くにホームックさんあるので、2つはいらぬような気がするんですけど。どうでしょうか。新中里支店は石巻支店の中にもう統合されたはずなんですよ。ATMコーナーしかないような状態なので。2つはいらぬような気がするんですけど。

事務局 こちらにつきましても、協議会の中で諮りまして、一旦はおっしゃられる通り石巻支店に統合という話もございまして、ATMだけとなりましたが、ATMを利用する方もいらっしゃるといってお話もいただきましたので、まずは今後の利用状況を見ながら、会議で諮っていくという結果になっております。

(協議結果)

異議なし 承諾

(3) 河北地区住民バスの運行形態の変更について

(説明：河北地域振興課)

(質疑応答)

委員 この運行形態で、1日に1人何便まで、利用できますか。河南の場合は今まで1日に2便に限定してるけども、何便にも乗って良いのですか。

河北地域振興課 乗り合いの調整がございまして、基本的に予約制とさせていただきます。その予約の中で便が空いていれば、調整をした結果、複数便利用することも可能と考えております。

委員 運行日時の件で、月曜から金曜日の平日ということですけども。土日祝日年末年始は置いとくとして、なぜ、土日祝日は運行されないんですかという質問です。お願いいたします。

事務局 これまでの現行の住民バスにつきましても、コース毎に週2日ずつ設定してございまして、平日の運行としてございました。それを基本といたしまして、月曜日から金曜日まで。主な利用者を想

定するのが、やはり交通弱者であります高齢者の方々を中心に利用いただきたいと考えておりました、その中でできるだけ利便性を高めたいと考えておりました、平日運行としたものでございます。

会長 利便性の向上と一言書いてありますが、全体の背景をもう少しだけ簡単に結構ですので、どうしてこういう変更してくれという声が出てきたのかという背景を教えてくださいませんか。

河北地域振興課 やはり曜日を増やして欲しいという声がございます、そちらの参考とさせていただきますのが、近隣地区であります桃生地区では既にワンコインタクシーという形で、全域の交通を実施しておりますので、そちらの運行形態を参考に今回の各地区の検討をいたしました。

会長 週2便では、やっぱり不便で、増やしたいけれども、どうしたら良いのかということで、桃生を参考にしながらということですね。ありがとうございます。

(協議結果)

異議なし 承諾

(4) 桃生地区住民バスの運行経路変更について

(説明：桃生地域振興課)

(質疑応答)

特になし

(協議結果)

異議なし 承諾

(5) 桃生ワンコインタクシーの運行形態の変更について

(説明：桃生地域振興課)

(質疑応答)

特になし

(協議結果)

異議なし 承諾

(6) 北上地区住民バスの運行について

(説明：北上地域振興課)

(質疑応答)

特になし

(協議結果)

異議なし 承諾

5. その他

コミュニティ・カーシェアリングについて

会長 それでは続きまして、5番、その他に移ります。その他、コミュニティ・カーシェアリングにつきまして、宮城県タクシー協会石巻支部さんお願いいたします。

委員 カーシェアリング対応時系列を見ていただきたいと思います。
石巻支部、今28社、320車両、運転手従業員合わせまして350人、そのご家族を合わせますと1,000人以上になりますので、その生活を守らなければならないという私も代表としまして、大変厳しい今の状況を皆様がいて、お開きしたいと思っておりますので、暫時よろしくお願いを申し上げたいと思います。

1ページの時系列を見ていただきますと、令和5年3月からこの問題につきまして、動き出しております。一番最初に動き出しましたのは、ドライバー、運転手さん達です。やはりいつも電話いただく、おばあさん、おじいさんから電話が無くなったと。全然、午前中、暇になってしまったというところから、いろいろ運転手は運転手で調べた結果、カーシェアリングという事で、そちらの方にお客さんを取られているという事がありまして、令和7年1月16日運輸局局長、支局長までの面談まで、この様に我々としても、いろいろと執行部としまして、動いて、いろいろと要望、陳情、お願い、相談という事でやってまいりました。石巻市議会、石巻市、それから商工会議所さん、観光協会さんにも現状の説明をし、また要望もしてまいりました。それが1ページにありますとおりでございます。

次のページを見ていただきますと、我々タクシー協会としてまとめた意見でございます。1から6までございますけれども、1番目カーシェアリングの活動により、タクシーの利用者が減少しております。通院するお客様が安価なカーシェアリングに移行しております。タクシー運転者の給料は歩合制であります。利用者の減少は、タクシードライバーとしての生活ができないという大きな問題として、乗務員有志からタクシー協会と運輸局に問題提起されております。やはり死活問題だということで、ちょっとこの話が大きくなってきております。

そして、2番目、実際にどうなんだという事で調査をいたしました。メーター料金というのが普通のタクシーですね。メーターを倒して、乗って来るお客さん。それから今お話しております、乗合タクシーの利用者の減少も顕著になっております。大変厳し

い状況になっております。ミヤコーバスさんにも影響が出ていると聞いております。ですから、公共交通であります、バス、タクシーが、今、交通体系を壊されているのではないかという危惧をしておりますので、ぜひ、お考えをいただきたいなと思っております。特にアンケート調査、そして利用者数の調査をいたしました。メーター料金では、午前中の通院のお客様が激減しております。吉野町、渡波、大門町、中央、貞山、湊町が特に顕著です。それから、山手地区乗合タクシーは、宮城交通さん、まるごタクシーさん、東北交通さんと3社で頑張っていたいておりますが、これも令和5年と6年を対比しますと、大幅減であります。そして水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー、先ほども話ありましたけども、こちらは石巻観光タクシー、北上タクシー、石巻タクシーが行っておりますけども、この6社とも、音を上げておまして、大分減ってますよという事で、これは、やはりカーシェアリングの影響ではないかという事で、運転手さん達が、何とか支部長お話をしてくださいという事で、今日はお話させていただきます。

3番目ですけれども、タクシー、大変コロナ中にありまして、また、今燃油高騰で、大変経営的に厳しい状況である中で、相談をして、我々も運賃改定に踏み切り、令和5年の9月に運転手の給料を少しでも良くしようという事で、労働条件改善のために運賃改定をさせていただきました。

しかし、その値上げにも関わらず、その後の資料を見ていただきますけども、運送実績表が添付されているかと思えます。4月から9月まで見ていただければ分かるんですけども、運送収入の欄があります。4月が97.3。上から3番目が石巻であります。他のところは全て100を超えています。5月が98.4、6月が93.0、7月が89.4、8月が90.9、9月が84.8、他の6地区に比べて、石巻だけが10ポイント落ちてます。ですから、これでいきますと、石巻だけが相当景気が悪いのかなと、車に乗らなくなったのかなと思えますけれども、どうも6支部に比べて、石巻だけが落ちているという事で、ちょっとやはり何らかの特有なものがあるのではないかなと思っております。これちょっと出すときに資料が遅れたんですけども。その後に調べましたけども、10月は87.4、11月は88.9、12月は90と、やはり10ポイント他の地域に比べて、石巻地域の支部だけが運送収入が落ちてます。これはどういう事なのだろうかという事で、私達としては、何らかの、やはりこの

カーシェアリングという事が影響があるのではないかなと思って
おります。

この中で皆さんびっくりされるかと思いますが、大体、前年対
比 100 となっていますけども、仙北が飛び抜けて 139 とか 138 と
か 146 とかという事で、すごいなとご覧のところがあるかと思
いますけど、これは栗原市が全住民にタクシーサービス券 4,000 円
を毎月配っております。毎月 4,000 円のタクシー利用券を出して
いますから、多くの皆さんがタクシーを利用して頂いているとい
うことで、我々としては大変うらやましいんですけども、そうい
う形で栗原市が入っている。仙北支部はこれだけ運送収入が伸び
ているという事でございます。

それから 4 番目になりますけれども、地域コミュニティ、この
カーシェアリングっていうことは、地域共生社会の実現のためだ
と保健福祉部さんは一生懸命訴えます。地域コミュニティなん
だ。包括ケアの推進だと。引きこもり高齢者対策なんだという事
は言われますけれども。どこまでがコミュニティ作りなのか。公
共交通に影響が出ているという事も目を向けて、私はやってい
ただきたいなと思います。

このように今、地域公共交通活性化協議会の中でも、このよう
に議題に載っていますけども、28 社のタクシー会社は地域のため
に、また市からの要請もあって、協力してるつもりです。河北
も桃生も河南も全て北上も牡鹿も皆やっておりますけれども、万
が一これでタクシー会社が潰れてしまったら、これ乗り合いタク
シーやる人がいなくなるっていう心配が私は出てきています。オ
ーバーじゃないかって言うかもしれませんが、実際に運送収
入が減って、大変厳しい会社が出てきています。

ですから、その 5 番目にありますけども、タクシー協会としま
しては、地域コミュニティを否定するものではありません。です
から、やっていただいて構わないですけども、こちらにも迷惑が
かからない Win-Win のやり方っていうのはできないのでしょ
うか。そこを私は考えていただきたいと思います。

よって、最後になりますけども、地域人口減少社会における石
巻圏域の公共交通は市民生活の足であり、市民の安全安心輸送に
は厳しい運輸局の許認可を受けております。公共交通機関である
バス、タクシーを中心に再検討していただきたいなと思います。
であれば、このまま私達も生き長えながら地域の交通弱者の方々
にも、私達は一緒になって協力できるのではないかなと思いま
す。ただ、会社が無くなってしまったんでは、何もできなくな

る。ですから、コミュニティ・カーシェアリングは確かにいいでしょうけども、実際には緑ナンバーじゃないですから白タクです。一般の人が乗って運転している訳ですから。万が一事故あった時には町内会で責任持てますか。私達はそこを心配しているんです。ですから、通院とか買い物に行くのが地域コミュニティなんでしょうか。私は地域コミュニティは別だと思えます。皆さんで、お年寄りの方々がお茶っこ飲むとか、お花見をするとか、温泉旅行に行くとかって、そういう事ではないですか。通常交通体系を壊してまで、そこまでやるのかなと思うのでありまして、何とかこの窮状、今 28 社、本当に先ほど言いましたけども、タクシー会社、これも使ってください、これも使ってくださいという、皆さんから資料を出しました。自分ところの売上なんか出したくないんですよ、本当は。支部長これを使ってくださいという事で、今日持ってきました。

今、会長さんには出しておりますけども。その乗り合いタクシーも、令和 5 年度と令和 6 年度の対比で 2,000 何人の減になってます。実際に。ですから、タクシーはなかなかこれで食べていくのは大変な話なんです。ですから、ある程度、年間 300 人も 400 人も減るという事は、やはり何らかの形でカーシェアリングに我々のお客さんがそちらに行ってるという、私は数字だと、実数だと思いますので、ぜひ皆様方に我々の窮状を組んでいただきまして、ご理解をいただきたいなと思えますので。よろしく願いを申し上げたいと思えます。以上です。

会長

はい、ありがとうございます。協議会といたしましては、ここで何か決めるという訳ではございませんけれども、また別途、協議の場を設けられるという事でございますが、せっかくの機会ですので、今のお話を受けて皆様方からご意見を頂ければと思えますが、いかがでしょうか。

委員

タクシーさん大変だと思います。私も河南で乗合タクシー運行協議会に携わっておりますが、タクシーさんにはご協力もらって本当にありがとうございます。大変な実情を今、具体にお聞きしました。それでこの中でですね、一つ教えてください。栗原市独自で 4,000 円のタクシー券を配っているという事ですので、これ対象者はどなたですか。何歳以上とか身体障害者の方とかそういう資料はお持ちですか。

委員

栗原市の広報紙ですけれども、対象は市内に住む住所がある人です。ですから市民全員です。予算としましては 1 億 2000 万を使っているようでございます。1 カ月当たり 8 枚のタクシー利用

券。1枚が500円です。それを8枚綴りを1カ月です。ですからそれが12回配れるということです。年間。

委員 合併前ですけども、私の方でも福祉タクシー券。これは委員さんのお父さんから、ご年配の人、75歳以上の全てにタクシー券を配布したという実績はありますけども。石巻市ではどこでも実施していないという事で、取りやめになった経緯がありますけどもね。これ十分に参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

会長 ありがとうございます。他の皆様方がいかがでしょうか。特にカーシェアリングの話が今出てまいりましたけれども、そちらにつきまして、ご意見等ございましたら、お願いします。

委員 前にも私、カーシェア会のちょっとお話をさせていただいたんですけども、必ずしもコミュニティを作るとかじゃないんじゃないかと仰ってましたけれども、カーシェア協会がカーシェア会を作る目的は、ただ皆さんで助け合いをして、乗り合いをするという趣旨ですけども。それだけではなくって、毎月例えば1回、お茶っこ会を開くとか、そういう中でコミュニティを作ってるんですね。だから、ただ乗るだけの話ではないので、一度やっぱりタクシー協会さんとカーシェアリングさんがちゃんと膝を交えて、お話し合いをされたら良いんじゃないかなと、ちょっと感じました。

会長 ありがとうございます。他の皆様方がいかがでしょうか。

委員 このカーシェアリングが石巻で11ヶ所ほどあるという事を聞きましたが、他の地区、他の支部ではこのカーシェアリングを実施している地区はあるんですか。

委員 ありません。石巻旧市内だけであります。河北でもそういう動きがありましたけども、運転する方いないという事で、取り止めになってます。

会長 他いかがでしょうか。

委員 カーシェアリング大分いろいろお話を聞くんですけども。問題は運転手。ボランティアの運転手の平均年齢とかそういうのは押さえてますかね。多分、今高齢者の運転でいろいろ問題になってる時代に、果たして何歳になった人たちが運転してるんだと、ちょっと心配するところがあるんですけども。その辺はどうでしょう。わかりますか。

委員 あの私カーシェアリングの回し者ではないですけども。いろいろちょっとお聞きしまして。あくまでもドライバーさんはボランティアなんですね。ボランティアのドライバーさんでも、例えば中央

に1人いらっしゃるんですけど、その方も70代半ばなんです。いつまで運転できるかなという話なんです。どんどんボランティアのドライバーさんが増えれば良いんですけども、このまま増えない限り、いつか運転が出来なくなる。そしたら、やっぱり、そのコミュニティは無くなるんじゃないかなという事は危惧しております。その辺はちょっとやっぱりね、私もあの将来の見通しは不透明だと思います。

会長
事務局

ありがとうございます。他の皆様方がいかがでしょうか。

本日は他の市町と比較した資料を提示いただきまして、石巻のタクシーだけが運送収入下がっているという資料を見せていただきましたので、より詳しくタクシー業界の現状を把握できたと思います。

また、タクシー協会さんの話を聞けば、この割高なイメージがあるタクシー料金というの、適正にタクシー会社を運営していくためには、適切な運賃が設定されているという事も、一般利用者の方々にもご理解いただけると思いました。

ただ、石巻のタクシー運送収入が下がっていることと、カーシェアリングの因果関係が直接あるかという事は定かではないものの、本市でのカーシェアリングの主な活動目的は、先ほど池田委員が言われたように、タクシーであったり、他の公共交通機関の代わりをするというものではなくて、地域のコミュニティの維持だったり、高齢者の外出支援という事であることからですね、タクシーであったり、他の公共交通機関とできるだけ競合しないように運行体制ですね、例えば運行する時間帯であったり、移動範囲であったりという見直しを検討していただけるように、本日、タクシー協会さんから、お話いただいた内容をカーシェアリングを所管する保健福祉部と共有させていただいて、福祉部との意見交換の機会などについても、こちらで調整してまいりたいと思います。以上でございます。

会長

ありがとうございます。追加で他の皆様方から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、こちらにつきましては、また場を変えて継続的にご議論いただくという事にしていただければと思います。

6. 閉会

以上

石巻市地域公共交通活性化協議会 委員名簿（敬称略）

番号	氏名	役職名	備考
1	おおさき かずお 大崎 和雄	石巻市町内会連合会 副会長	出席
2	かのう のりお 加納 憲夫	河北地区行政委員会 大川地区副代表	出席
3	たかはし もりじ 高橋 守次	雄勝地区住民バス運行協議会 会長	欠席
4	おなかわ せいいち 女川 清一	河南地区乗合タクシー運行協議会 会長	出席
5	たかはし よしみ 高橋 善美	桃生地区行政委員会 副会長	出席
6	おやま ようえつ 小山 要悦	北上地区住民バス運行協議会 副会長	欠席
7	おおさわ としお 大澤 俊雄	牡鹿地区行政区長連絡協議会 委員	出席
8	いとう よしかず 伊藤 善和	石巻市PTA協議会 理事	出席
9	みた あきこ 箕田 朗子	特定非営利活動法人 障がい者ベース石巻によつきり団 代表	欠席
10	たかはし ちえ 高橋 智恵	特定非営利活動法人やっぺす 事務局	欠席
11	みたに れいこ 三谷 れい子	石巻市老人クラブ連合会 理事	出席
12	しみず まりこ 清水 真理子	石巻を考える女性の会 副会長	出席
13	くぼ ともみつ 久保 智光	社会福祉法人石巻市社会福祉協議会 事務局長兼地域福祉課長	欠席
14	せきざわ きょうこ 関澤 京子	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官	出席
15	おおとも さとし 大友 哲	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 石巻国道維持出張所 所長	出席
16	ちば けいこ 千葉 恵子	宮城県企画部地域交通政策課 地域鉄道担当課長	欠席
17	のぐち みき 野口 実基	宮城県東部地方振興事務所 地方振興部長	欠席
18	あべ まさひろ 阿部 正弘	宮城県東部土木事務所 総括次長	出席
19	よしだ みつひろ 吉田 光浩	宮城県石巻港湾事務所 総括技術次長	出席
20	さとう こうじ 佐藤 康治	宮城県石巻警察署 交通課長	欠席
21	やました てつや 山下 哲哉	宮城県河北警察署 交通課長	出席
22	ながお しょうご 長尾 勝吾	株式会社ミヤコーバス 執行役員仙台・石巻地区支配人	欠席
23	いけだ のりひこ 池田 憲彦	一般社団法人宮城県タクシー協会石巻支部 支部長	出席
24	あんばい ともいち 安倍 友一	網地島ライン株式会社 代表取締役	欠席
25	みかさ あきこ 三笠 亜希子	東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター 副所長（石巻駅長）	欠席
26	うぼうら みちお 姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所 教授	会長 出席
27	くどう しゅうへい 工藤 周平	石巻専修大学経営学部 教授	出席
28	かじわら まさよし 梶原 正義	石巻市建設部 部長	出席
29	おか ひろし 岡 浩	石巻市復興企画部 部長	副会長 出席

オブザーバー

番号	氏名	役職名	備考
1	おの 寺 広太郎 小野 寺 広太郎	宮城県東部地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班 班長	出席
2	ごとう 藤 正基 後 藤 正基	株式会社ミヤコーバス石巻営業所 所長	出席
3	かさい ひろのぶ 葛 西 洋 信	東日本旅客鉄道株式会社	出席